

## コミュニティの拠点としての企業活動

イオンリテール株式会社北関東カンパニー栃木群馬事業部イオン今市店

イオンリテール株式会社北関東カンパニー栃木群馬事業部イオン今市店では、「ただ物を売るだけではなく、地域社会の一員として、できることから地域に貢献していきたい」との考えに基づき、全社的に行っている社会貢献活動はもちろん、その他にも独自の特徴ある活動を行ってきた。その理由として、地元 NPO・ボランティアグループとの関係の深さと、イオン今市店が地域で果たす役割を「コミュニティの拠点であるべき」と捉えていることが挙げられる。

### □■□会社概要□■□

イオン株式会社が 2008 年のグループ再編により純粋持株会社に移行する際に、小売業に関する業務を会社分割にて承継したイオンの 100%子会社である。

### ■□■企業データ■□■

#### ●企業理念

イオンは「顧客を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という不変の理念を堅持し、その具現化のための行動指針である「イオン宣言」を胸に、「顧客第一」を実践していく。

#### ●代表者

国分 哲朗 (店長)

#### ●所在地 〒321-2414

栃木県日光市豊田 79-1

#### ●設立年 1998 年

#### ●従業員数 239 名

#### ●TEL 0288-30-2000

#### ●FAX 0288-30-2400

#### ●CSR・環境レポート URL

<http://www.aeon.info/export/sites/aeon/environment/report/2010pdf/data.pdf>

### 地元密着

#### ■催事コーナーの開放、地元密着型のイベント開催

地元の学校のブラスバンドなどから、「店舗で活動発表をしたい」との要望が寄せられたことをきっかけに、催事コーナーにステージを設置し、演奏会や NPO・ボランティアグループの活動発表の場として提供している。これにより、地元には多くの文化・芸能グループがあることを知り、夏祭りなどの主催イベントで地元の文化・芸能サークルなどに出演を依頼、地域に密着したイベントとしている。地元のお囃子会、民謡会、ブラスバンド等様々なグループが参加し、地域の賑わいを演出している。

#### ■送迎バスの運行

自家用車が無いなどの理由で買い物に行くのが困難な人向けに送迎バスを運行している。当初は山間地域と店舗間の主要拠点やライバル店とも言える他の店舗にまでバス停を置いた運行を模索していた。現在、観光シーズンの渋滞等、諸事情により最寄り駅と店舗間の運行となっているが、その姿勢からは顧客を呼ぶだけではなく、地域の暮らしやすさに視点を置いていることが伺える。

### 地元 NPO 等との協働

#### ■ボランティア・市民活動フェスタへの協力

また、地元の市民団体有志が実施するイベント「ボランティア・市民活動フェスタ」に、様々な形での協力を行っ

ている。イベント内のスタンプラリー景品の提供や、イベント会場として店舗駐車場の一角を提供し、相互に PR・集客をするなどの実績を上げている。

#### ■被災地支援ボランティア活動のための街頭募金への協力

地元 NPO 等の求めに応じ、国内外で大きな災害が起こったときに、被災地支援ボランティア活動支援募金の活動の場所として店舗を提供している。

#### ■障がい者の作業工賃向上への協力

特定非営利活動法人はばたき（日光市）が福祉作業所の共同受注窓口になっており、作業受注の営業でイオン今市店を訪れた。仕事は出せないが何か協力をということで、催事コーナーを使って定期的に市内 6～8 施設で障がい者が作った商品の販売を行っており、障がいがある人とのふれあいの場の提供につながっている。



日光市内授産施設作品販売会の様子

#### ■イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月 11 日は「イオン・デー」として、エコロジー（環境）とローカル（地域還元）をテーマに、2001 年 8 月より全社的に、多彩な社会貢献活動を行っている。この活動の一つとして、イオン・デーにだけ発行する黄色いレシートを、顧客が支援したいボランティア団体別のボックスに投函する。集められたレシートの総金額の 1%分相当の商品を、店側が団体に贈呈するというもの。登録されている団体は 21 団体。地域のボランティア団体などを顧客と一緒に支えていく活動となっている。この活動を通し、NPO・ボランティアグループとのコミュニケーションを深め、団体のニーズを探りながら、可能な支援を形にしていきたいという思いを持っている。



幸せの黄色いレシートキャンペーンの様子